



大阪市教 教研  
集会「学校らしさ」を  
取り戻そう!!  
10月16日(土) 13:30  
アネックスパル法円坂

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



第25回ママ友会議  
を、7月22日に参加  
者12名で開催しまし  
た。今年は海の日が

## ママ友会議 第25回

# 交流 交渉項目検討 教室飾り工作

オリピックの関係  
で移動して夏休みに  
入ってからの開催と  
なりました。  
会議では、まず、  
自己紹介も兼ねて職  
場の様子を交流しま  
した。夏休み中にテ  
レワークができるこ  
とについて管理職の  
説明が不十分だった  
職場があること、1  
学期末に管理職から  
職員室で大きな声で

叱責された話などど  
い実態があきらか  
になりました。  
また、9月にある  
市教委への要求書の  
提出に向けて要求項  
目の検討を行いました。  
今年度も引き続き  
条件を府並みに戻す  
ことを中心にし、特  
に妊娠障害休暇を7  
日から14日に戻すよ  
う重点項目として交

# 核禁止条約を力に核兵器廃絶 条約批准する政府をつくろう

原水禁21世界大会  
ヒロシマデー集会  
画面11月8日



「原水爆禁止20  
21年世界大会」が  
8月2日〜9日、広  
島・長崎の現地と、  
全国とのオンライン  
を繋いで集会がおこ  
なわれました。  
8月6日の「ヒロ  
シマデー集会」では  
「日本と世界、草の  
根の運動の報告」を  
テーマに日本と世界  
の政府・市民団体の  
代表が核兵器廃絶へ

の思いを語りあいま  
した。  
世界大会起草委員  
長の富田宏治さん  
(関西学院大学教  
授)は主催者報告で  
今年1月に国連で批  
准された「核兵器禁  
止条約」にふれ、  
「核兵器の違法化と  
いう歴史的達成を勝  
ち取った今こそ、人  
類生存とその未来の  
ため、核兵器廃絶の  
実現をめざす行動に  
意気高く立ち上がり  
ましょう」と呼びか  
けました。日本原水  
爆被害者団体協議会  
の箕牧智之さんは76  
年前3歳の時の被爆  
体験を語り核兵器廃  
絶を訴えました。  
松井一実広島市長  
は、「核兵器廃絶を  
目指す市民社会の総  
意を形成し、核保有  
国が固執する核抑止

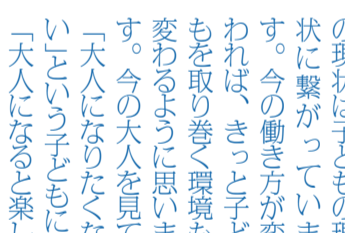
論から、為政者の政  
策転換を促すため、  
市民社会のみならず  
が力をあわせて行動  
し、国際世論の醸成  
・拡大に向けた大き  
な潮流を作っていく  
ことが重要ですよ」と  
語りました。  
8月9日の「ナガ  
サキデー集会」で  
は、世界大会実行委  
員会議長団の安齋育  
郎さんが主催者報告  
で「きのこ雲の下で  
起きた非人道的な実  
相に目を向け、核兵  
器廃絶の根本的なエ  
ネルギーにしなけれ  
ばなりません。」と  
訴えました。  
田上富久長崎市長  
は「核兵器廃絶を  
実現するためには、私  
たち市民社会が連帯  
し、これまで以上に  
粘り強く声を上げる  
ことが必要」「一つ  
ずつ



情報提供として  
8月25日から運用が  
始まるデジタルドリ  
ルについて知ること  
と問題点についての  
学習もしました。  
最後に先輩に、子  
どもと作って教室を  
飾る「フルーツのモ  
ビール」と「くるく  
るのレインボー」、磁  
石を使った「リスの  
木登りおもちゃ」を  
教えてもらいまし  
た。参加者は時間を  
忘れて工作中に  
なりました。(次回  
は12月18日)

## マルかじり10周年 資本主義を学び、交流

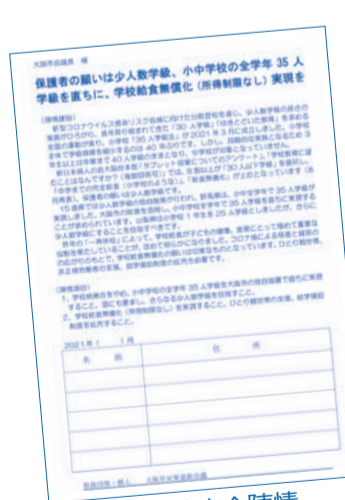
今年もマルかじり  
ゼミを8月7日、8  
日開催しました。情  
勢学習では、マルク  
スの『資本論』から  
今の働き方について  
見つめ直しました。  
私たちは気づかない  
内に自律性を失いつ  
ていくこと、また、生  
活できなくなるとい  
う恐怖以上に自分で  
選んだ仕事だからと  
いう自負や職務を全  
うしなくてはという  
責任感で自分を追い  
つめていることを学  
びました。そして、  
こんな自己責任論を  
つくり出す資本主義  
社会を変えようとい  
う動きが世界で起こ  
っていることも知り  
ました。  
日本の、とりわけ  
大阪市の教育は、過  
度な競争教育で子ど  
もたちを追いつめ傷  
つけています。大人  
の現状は子どももの  
現況に繋がっていま  
す。今の働き方が変  
われば、きっと子ど  
もを取り巻く環境も  
変わるように思いま  
す。今の大人を見て  
「大人になりたいくな  
い」という子どもに  
「大人になると楽し



「学校安心・安全ル  
ール」によって起こ  
ったトラブルから、  
「学習規律って一体  
何だろう?」「自分  
が先生として大切に  
していることって何  
だろう?」と参加者  
がそれぞれ振り返り  
を行いました。また  
自分の教育人生を分  
析してみたり、今年  
意識してがんばって  
いることを話したり  
と活発な交流になり  
ました。ICTなど  
の流行りに惑わされ  
ずに本当に大切な教  
育を考えるには、み  
んなでわいわいと学  
校や子ども話をす  
ることではないでし  
ょうか。こんな時だ  
からこそ、ちゃんと  
話し合うこと、ちゃ  
んと学ぶことができ  
る場をつくっていき  
たいと思います。

## 35人学級 全学年に 市会陳情 11月提出

「保護者の願いは  
少人数学級、小中学  
校の全学年35人学級  
を直ちに、学校給食  
無償化(所得制限なし)  
の実現を」求める  
陳情を大阪市会に提  
出します。締め切り  
11月初旬。コロナ禍  
で求められる教育条  
件です。



「学校安心・安全ル  
ール」によって起こ  
ったトラブルから、  
「学習規律って一体  
何だろう?」「自分  
が先生として大切に  
していることって何  
だろう?」と参加者  
がそれぞれ振り返り  
を行いました。また  
自分の教育人生を分  
析してみたり、今年  
意識してがんばって  
いることを話したり  
と活発な交流になり  
ました。ICTなど  
の流行りに惑わされ  
ずに本当に大切な教  
育を考えるには、み  
んなでわいわいと学  
校や子ども話をす  
ることではないでし  
ょうか。こんな時だ  
からこそ、ちゃんと  
話し合うこと、ちゃ  
んと学ぶことができ  
る場をつくっていき  
たいと思います。

## 仲間が増えた! 期待と不安の2学期直前 「学び、交流する」組合に入ります

夏休みもあとわずかになったある日、書記局の電話が鳴りました。かけてきたのはまだ経験の浅い青年です。「2学期が近づいて来るにつれ、職場のことや仕事のことを思うと精神的につらいです」と、訴えました。その後、直接会っていろいろ話する中で、職場に組合員がいることや、青年組合員が学び、交流していることなどを伝えると、その場で加入を決意しました。学期の始めは子どもたちだけでなく、大人も期待とともに不安と緊張感に包まれます。あなたの職場にも、鬱々とした気分を抱えている人がきっといます。声をかけ、話を聞き、励ましてください。そしてまず1人、仲間を増やしましょう!

「学校安心・安全ル  
ール」によって起こ  
ったトラブルから、  
「学習規律って一体  
何だろう?」「自分  
が先生として大切に  
していることって何  
だろう?」と参加者  
がそれぞれ振り返り  
を行いました。また  
自分の教育人生を分  
析してみたり、今年  
意識してがんばって  
いることを話したり  
と活発な交流になり  
ました。ICTなど  
の流行りに惑わされ  
ずに本当に大切な教  
育を考えるには、み  
んなでわいわいと学  
校や子ども話をす  
ることではないでし  
ょうか。こんな時だ  
からこそ、ちゃんと  
話し合うこと、ちゃ  
んと学ぶことができ  
る場をつくっていき  
たいと思います。

「学校安心・安全ル  
ール」によって起こ  
ったトラブルから、  
「学習規律って一体  
何だろう?」「自分  
が先生として大切に  
していることって何  
だろう?」と参加者  
がそれぞれ振り返り  
を行いました。また  
自分の教育人生を分  
析してみたり、今年  
意識してがんばって  
いることを話したり  
と活発な交流になり  
ました。ICTなど  
の流行りに惑わされ  
ずに本当に大切な教  
育を考えるには、み  
んなでわいわいと学  
校や子ども話をす  
ることではないでし  
ょうか。こんな時だ  
からこそ、ちゃんと  
話し合うこと、ちゃ  
んと学ぶことができ  
る場をつくっていき  
たいと思います。

## 教え子を再び戦場に送るな!

「学校安心・安全ル  
ール」によって起こ  
ったトラブルから、  
「学習規律って一体  
何だろう?」「自分  
が先生として大切に  
していることって何  
だろう?」と参加者  
がそれぞれ振り返り  
を行いました。また  
自分の教育人生を分  
析してみたり、今年  
意識してがんばって  
いることを話したり  
と活発な交流になり  
ました。ICTなど  
の流行りに惑わされ  
ずに本当に大切な教  
育を考えるには、み  
んなでわいわいと学  
校や子ども話をす  
ることではないでし  
ょうか。こんな時だ  
からこそ、ちゃんと  
話し合うこと、ちゃ  
んと学ぶことができ  
る場をつくっていき  
たいと思います。